

- 1 日時 令和5年9月 日（金）第6限目 14時30分から15時20分まで
- 2 場所 13R教室（1号館2階）
- 3 学年・組 1年3組30名（うち外国人選抜13名）
- 4 教材・教具 教科書：「ビジネス基礎（実教出版）」
副教材：「事例探究ワークブック ビジネス編（実教出版）」
その他：タブレット端末、ワークシート

5 単元計画

(1) 単元名 「4章 さまざまなビジネス」

(2) 概要（目標）

何ができるようになるのか	
経済の基本概念、流通の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、科学的な根拠に基づいて、流通と流通を支える活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。	
何を学ぶのか	どのように学ぶのか
物流活動、金融及び保険の働きや仕組みについて学ぶ。合理的な物流管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について、具体的な事例を用いて学ぶ。	各生徒が事前課題を含めたワークシートに取り組み、その成果を基にグループでより議論を深め、グループの結論を導き出す。

(3) 評価規準

【A】知識・技術	【B】思考・判断・表現	【C】主体的に学習に取り組む態度
経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。	経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案している。	経済と流通について自ら学び経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

(4) 指導及び評価計画

指導時間 本時	各時間の指導内容	重点評価 記録に残す評価	評価方法 (※Bの基準)
1	ビジネスの種類	【A】	確認テスト
2	小売業	【B】	ワークシート ※自分の経験とビジネス用語を結びつけ、他者に説明することができる。
3 4	卸売業、物流業、金融業	【A】	確認テスト
5	情報通信業 パフォーマンス課題	【A】	確認テスト ワークシート
6	パフォーマンス課題	【B】	ワークシート ※テーマに沿って情報を分析し物事を一つの側面から考えることができる。 グループワーク

6 本時の学習

(1) 学習内容

指導内容	第6節 情報通信業
学習内容	パフォーマンス課題により、情報通信業の発展と未来について考えを深める。

(2) 概要 (目標)

情報通信業についての基本的な知識を習得する。また、これまで学習した授業内容を活用し、ビジネスの場面を想定する中で、他者との協働を通して、より深く考える力を養うとともに、組織の一員として責任をもって取り組む態度を習得する。

(3) 授業展開

(○…「記録に残す評価」、●…「指導に生かす評価」)

段階	時間	学習内容	学習活動	観 点	評 価	指導の留意点
						評価のポイント
導入	4	・本時の目標確認	・ルーブリックに目を通し、評価基準を確認する。			・重視すべき観点を明確にすることで、生徒の学習意欲、学習効果を高める。
展開	8	・グループワーク	・設問1から3についての情報共有を行う。 ・設問1の回答をグループで考える。	【B】	○	・事前課題である設問1から4に各自が取り組んでいるかを確認し、設問1の回答をグループで考えることを強調する。
	8	・全体学習	・設問1の回答を設問2および3と関連させながらクラス全体で考える。			・設問1に対する回答をクラス全員で考え、まとめていくことを強調する。 ・スマート決済、スマート家電などスマート○○という言葉があるが、その多くに共通している要素を抜き出せるような発問を繰り返す。
	20	・グループワーク	・設問4について各自のアイデアをメンバーと共有する。 ・他のメンバーの意見を聞き、グループとしてアイデアをまとめ発表する。	【B】	○	・タイマーを設定し、時間配分に留意させる。 ・全員が協働して話し合いに参加しているか、机間指導を行う中で声掛けを行い、積極的に話し合いに参加することを意識させる。
まとめ	10	・本時のまとめ	・ルーブリックに自己評価を付け、授業を通して学んだことを記述する。 ・授業後アンケートに取り組み、集団への貢献の意義を考える。			・学習の取組について振り返らせ、ワークシートの記入状況について机間指導しながら確認する。 ・自分の意見を積極的に伝えようとすることや、まわりが意見を伝えやすい環境を構築することの大切さを伝える。

(4) 学習支援 (評価Cへの手だて)

Cと判断する具体的状況	事前課題である設問1から4の回答が準備できない。
学習支援の具体的内容	設問の意味が理解できているかを確認する。